

岡山県立高等学校の学科の設置等について

このことについて、別紙のとおり決定いたしたい。

令和7年3月14日

岡山県教育委員会教育長

中 村 正 芳

岡山県立高等学校の学科の設置等について（案）

○興陽高等学校

新設学科名	設置年月日	生徒募集学級	学区
ライフデザイン科	令和8年4月1日	2学級	全県

廃止学科名	廃止年月日	生徒募集停止年度
家 政 科	令和10年3月31日	令和8年度第1学年
被服デザイン科	令和10年3月31日	令和8年度第1学年

（内容）近年における少子高齢化やライフスタイルの多様化及び地域のニーズ等を踏まえ、新たな価値を創造し、持続可能な社会を担うことができる将来のスペシャリストを育成するため、家政科と被服デザイン科をライフデザイン科に改編する。

（学科構成）

現 行	令和8年度
農 業 科 1学級	農 業 科 1学級
農 業 機 械 科 1学級	農 業 機 械 科 1学級
造園デザイン科 1学級	造園デザイン科 1学級
家 政 科 1学級	<u>ライフデザイン科 2学級</u>
被服デザイン科 1学級	

※ 学科の生徒募集定員の策定及び学科設置等に係る関係規則の改正は別途行う。

岡山県立興陽高等学校の学科改編について

1 趣旨

本校は、農業及び家庭に関する学科を有する専門高校であり、家庭に関する学科では、生活産業の諸分野において、地域・社会で活躍できる人材の育成に努めてきた。近年、少子高齢化やライフスタイルの多様化、消費生活の複雑化が生じていることから、生活産業についての基礎的な知識・技術と各分野の専門性を生かしながら、様々な課題に対し、広い視野で主体的かつ協働的に取り組む力を身に付けることがこれまで以上に求められている。

今後は、家庭に関する学科を改編し、学科・類型間の横断的な学びや関係機関等と連携した探究的な学びにより、新たな価値を創造し、持続可能な社会を担うことができる将来のスペシャリストの育成を目指す。

2 改編の内容

- (1) 令和8年度入学者選抜から、家政科及び被服デザイン科の生徒募集を停止し、ライフデザイン科を設置する。
- (2) ライフデザイン科には、第2学年より、フード類型、ファッション類型及びこども類型を開設し、興味関心に応じた学習を行う。

【現行】

学科等 (学級数)	家政科 (1学級)	被服デザイン科 (1学級)	農業科 (1学級)	農業機械科 (1学級)	造園デザイン科 (1学級)
学習 内容	人間科学、食物科学の2類型に分かれ、専門的・体験的な授業を展開	テクニカル、デザインの2類型に分かれ、専門的・体験的な授業を展開	果樹、野菜及び作物の3類型に分かれ、専門的・体験的な授業を展開	農業機械、自動車及び材料加工の3類型に分かれ、専門的・体験的な授業を展開	造園工学、庭園施工管理及び生活環境の3類型に分かれ、専門的・体験的な授業を展開
進路	4年制大学、短期大学、専門学校、就職		4年制大学、専門学校、農業大学校、就職		



【改編後】

学科等 (学級数)		ライフデザイン科 (2学級)		農業科 (1学級)	農業機械科 (1学級)	造園デザイン科 (1学級)
目 標		学科・類型間の横断的な学びや、地域・産業界・上級学校等と連携した探究的な学びを行うことで、主体的かつ協働的に課題を解決する力や、新たな価値を創造する力を育成する。				
学習内容	第1学年	必修科目を中心とした学習に加え、基礎的な専門科目を幅広く学ぶことで、生活産業に関連する職業について理解させるとともに、関連する知識・技術を身に付けさせる。 総合的な探究の時間において、各科が協働した地域学習を展開することで、地域に貢献する態度や資質を育てる。				
	第2・3学年	フード類型		ファッション類型		こども類型
		地元地域の事業者等と連携して高齢者への弁当の宅配、興陽産米粉を用いた商品及び地元食材を活用した健康レシピ開発等を行うことで、食物領域に関する課題を広い視野で主体的に発見するとともに、他者と協働しながら解決する力を身に付けさせる。		企業と連携したキャリア教育の実施やショーの企画・運営、デニム製品の開発等を行うことで、被服領域に関する課題を広い視野で主体的に発見するとともに、他者と協働しながら解決する力を身に付けさせる。		大学等と連携して農場及び庭園を活用した保育実習プログラムの企画・実施、親子遊びの開発等を通して、保育領域に関する課題を広い視野で主体的に発見するとともに、他者と協働しながら解決する力を身に付けさせる。
		第2学年では、農業科目「生物活用」において、農場及び庭園等を活用しながら、自分たちで育てた生産物を活用する教育活動を通して生産者の視点を養うとともに、持続可能な社会に寄与する態度を育成する。				
		第3学年では、「消費生活」及び「課題研究」等において、マーケティングや商品開発等の学びを類型間の連携による課題解決に向けた取組等を通して行うことで、消費者や販売者の視点を養うとともに、新たな価値を創造する力を育成する。				
資格取得等		・家庭科食物調理技術検定1級 ・食生活アドバイザー3級 ・秘書技能検定 ・色彩検定3級		・家庭科被服製作技術検定洋服1級 ・ファッションビジネス能力検定3級 ・福祉住環境コーディネーター3級 ・ビジネス文書実務検定2級		・家庭科保育技術検定1級 ・情報処理検定3級
進路		4年制大学、短期大学、専門学校、就職				

引き続き農業教育の充実を図る。

引き続き農業教育の充実を図る。

3 学校全体の取組

- ・生徒の主体的活動（生徒会活動及び校則改定後の風紀の生徒自治）
- ・全国レベルの部活動（弓道部、自転車競技部、なぎなた部）
- ・地域貢献活動（里海再生活動、児島湖ヨシ刈り、宅配弁当、ファミリー稲作、高齢者福祉施設訪問）
- ・学科連携教育活動（スマート農業、綿花プロジェクト、興陽産米粉活用研究）